

P-100シリーズ P型1級受信機
移信用リレーユニット
品番 NBY431□(□はAまたはB)

この商品は、P-100シリーズP型1級受信機
(NBP102AE□□, NBP102AEA□□,
(NBP102FK□□, NBP102FKA□□,
NBP103AE□□, NBP103AEA□□,
NBP103FK□□, NBP103FKA□□
(□□は回線数)
(別売)専用です。

NBY431□(□はAまたはB)

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

安全上のご注意 ■必ずお守りください

警告

受信機の電源(AC100V)を切り、受信機の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

施工上のご注意

- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
 - 単線専用です。より線は使用しないでください。
 - 商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- 施工時のご注意
- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
(電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化し、不良をおこし、誤報の原因となります。)



- 付 属 品
- 施工説明書(本紙)…1枚
 - 接続用ケーブル…1コ
 - 取付用スペーサ…6コ

速結端子のご使用方法

- 電線は必ず右記の単線を使用してください。

電線の接続方法

- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。

注

- 曲がった心線は使用しないでください。接触不良などをおこし、不動作の原因となります。

- ストリップゲージに合わせて電線の被覆を10mmむき、
①心線を奥まで確実に差し込む。

電線のはずし方

- ①電線を速結端子と水平にして、マイナスドライバー(小)で解除ボタンを押しながら、②電線を引き抜く。

導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば、結線したまま導通確認ができます。

小勢力端子 φ0.9~φ1.2

ストリップゲージ 10mm

ストリップゲージ テスター孔 解除ボタン

解除ボタン

施工後の確認方法

注

確認後は、受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態にしてください。
(P-100シリーズP型1級受信機の取扱説明書を参照ください。)

- 受信機の火災試験(P-100シリーズP型1級受信機の取扱説明書参照)により、1回線ずつ発報させ、下記の確認をし、受信機の復旧スイッチを押した後、次の回線を確認してください。

●火災警報回線	●副受信機の場合	●非常放送設備の接点出力の場合
1回線目(L1-C)	1回線目 点灯	I1-EC間導通
2回線目(L2-C)	2回線目 点灯	I2-EC間導通
3回線目(L3-C)	3回線目 点灯	I3-EC間導通
⋮	⋮	⋮
n回線目(Ln-C)	n回線目 点灯	In-EC間導通

取 付 方 法

図はNBP103AEA20の場合

交流電源スイッチ

電池コネクタ

受信機

電話機固定バンド

移信用リレーユニット取付スペース

電池

図1

電池コネクタ 移信用リレーユニット 接続用コネクタ A部

取付用スペーサ(付属)

図2

接続用コネクタ B部 接続用ケーブル固定用フック リード線

図3

電池固定バンド リード線 電池 リード線押え

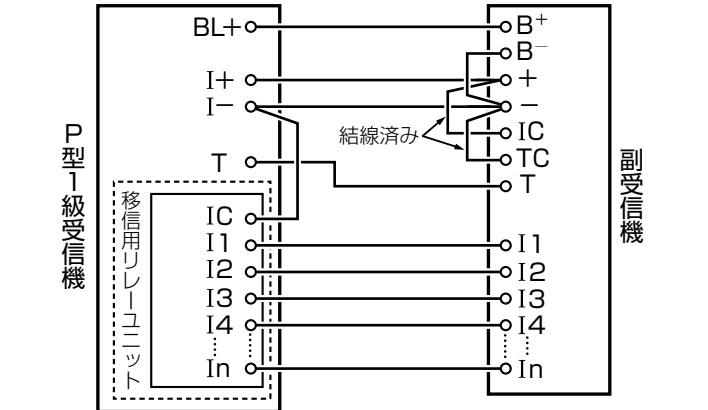
- 電池固定バンドで電池を固定し、リード線押えに電池のリード線をはさみ込んでください。

- 1 受信機の扉を開ける。
- 2 交流電源スイッチを「切」側にし、電池を取りはずす。
- 3 受信機の 移信用リレーユニット取付スペースに付属の取付用スペーサで移信用リレーユニットを取り付ける。(図1参照)
(電話機固定バンドも取りはずす。)
※電話機を収納できなくなります。別途、収納袋を購入していただき、受信機の近くに保管してください。
- 4 移信用リレーユニットの接続用コネクタ A部と受信機の接続用コネクタ B部を付属の接続用ケーブルで接続する。
※接続用ケーブルのリード線は、接続用ケーブル固定用フックにはさみ込んでください。(図2参照)
- 5 配線する。※「接続方法」参照
- 6 電池を取り付け(図3参照)、交流電源スイッチを「入」側にする。
- 7 動作確認をする。※「施工後の確認方法」参照
- 8 受信機の扉を閉める。

接 続 方 法

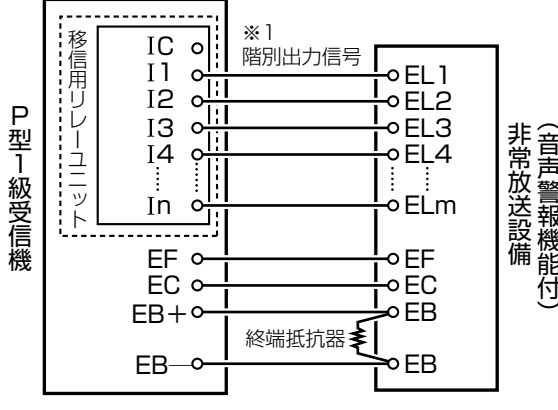
警告 ●電線、コネクタの差し込みが、不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実に差し込んでください。

■副受信機(NYI403FKB□□H, NYI403FK□□H, HYI403FKA□□H)(□□は回線数)との接続



※防排煙感知器発報や警報入力時など自火報感知器以外の要因でも副受信機を鳴動させる場合は、P-100シリーズP型1級受信機の施工説明書および設定マニュアルを参照してください。

■非常放送設備(音声警報機能付)との接続



※1 移信用リレーユニットから階別出力信号を出力する場合は、P-100シリーズP型1級受信機の設定マニュアル(回線別移信設定)を参照してください。

●コネクタを「I」側から「E」側に変更してください。(出荷時は「I」側に接続しています。)

「I」側：副受信機との接続時、接続してください。

「E」側：非常放送設備との接続時、接続してください。

●コネクタの抜き差し方

- 図は「I」側の場合
※まっすぐ抜いてください。
- 図は「E」側の場合
※まっすぐ抜いてください。

■異常時の点検・処置

症 状	点 検	処 置
接点出力がでない。 (●副受信機の場合：In-IC間) (●非常放送設備の場合：In-EC間)	接続用コネクタ(2カ所)がしっかりと差し込まれていますか？	接続用コネクタ(2カ所)をしっかりと差し込む。(※「取付方法」参照)
	副受信機が接続されている場合、コネクタが「E」側に差し込まれていますか？	コネクタを「I」側に差し替える。(※「接続方法」参照)
	非常放送設備が接続されている場合、コネクタが「I」側に差し込まれていますか？	コネクタを「E」側に差し替える。(※「接続方法」参照)